

授業科目名 <英訳>	学術情報リテラシー入門 - 図書館とWeb情報の活用 - Introduction to Academic Information Literacy - Library & Web Usage -	担当者氏名	附属図書館 准教授 北村 由美
			工学研究科 教授 引原 隆士
			情報学研究科 教授 黒橋 禎夫
			教育学研究科 教授 川崎 良孝
			薬学研究科 教授 金子 周司

群	現代社会適応科目群	系列	情報系科目 (Ⅱ類科目)				
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義
開講期	後期	曜時限	月2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

【授業の概要・目的】

論文・レポートを書くための文献・情報収集、卒業論文作成のための文献調査等に必要な情報活用技術を演習によって習得しながら、図書館情報学、情報探索の概要を学ぶ。

【授業計画と内容】

専門分野の異なる教員陣による講義と、演習をリレー形式でおこないます。以下のタイトルについて授業を進める予定です。

- ・大学図書館の機能と研究活動（講義）：授業への導入として、大学図書館での資料・情報源やサービスが論文・レポート執筆にいかに関与するかを概説します。
- ・分類の一般概念と分類理論（講義＋演習）：情報の整理・探索・分析の基礎となる分類について、図書館での分類法からネット上での情報探索のしくみに至るまで学びます。
- ・目録情報とその利用法（講義＋演習）：「どこ（どの図書館のどの場所）にどんな資料があるかを示すしくみとしての目録について、さまざまなデータベースを含めて活用法を学びます。
- ・参考資料の種々とその利用（講義＋演習）：辞書・事典類（参考資料）を用いて、思考・発想のヒントや有益な文献を探し出す方法を学びます。あわせて、学術論文の探し方についても学びます。
- ・インターネット情報およびデータベースとその活用法（講義＋演習）：ネットでの情報探索において陥りやすいポイントは何かを、難題を自ら調査する経験を通じて学びます。
- ・大学での研究・学習と情報源（講義）：上記の通り学んできたさまざまなしくみや情報源を、実際の論文・レポート執筆の場面でいかに活用すべきかを学びます。
- ・総合演習（演習）：授業全体の総まとめとしての演習です。

【履修要件】

学術情報メディアセンターのIDを取得していること。

【成績評価の方法・基準】

演習ごとに課題を設定し、レポートを提出してもらい、総合的に評価します。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

「大学生と『情報の活用』」を参照のこと。

(学内限定公開：http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content_id=22)

(関連URL)

http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content_id=3(授業用ウェブサイト)

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/general-education-jp/2011/department-ab/9127001-9128001/lecturenote>(OCW講義ノートURL(2011年度))

[その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)]

・これから大学で様々な事項を学ぶにあたり、図書館および図書館資料(情報)の活きた利用法、調べ方の実際を知り、スキルアップに役立ててください。

・履修にあたっては、パソコンの基本的操作ができること(日本語入力ができる・文書作成ソフト/テキストエディタが使用できる・レポートをメールの添付ファイルで送信できるなど)が望ましいです。

・初回の授業には必ず出席してください。